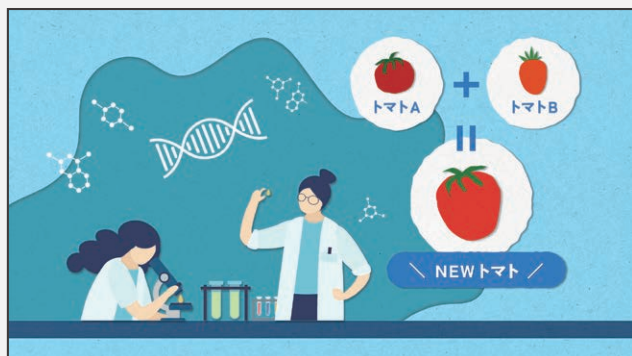


タキイ種苗株式会社 採用向け事業紹介動画 構成案



一粒のタネが世界と自分を変える、未来へのストーリー

動画制作の目的

タキイ種苗のことを知らない就活生に向けて、タネから始まる事業の広がり和社会的な役割をストーリー仕立てで伝え、事業への関心を喚起し、エントリーやイベント参加につなげることを目的としています。

視覚的に伝わりやすいアニメーション表現により、複雑な内容も直感的に理解でき、見応えのある映像体験を通じて興味を引き出します。

ターゲット

- ・タキイ種苗のこと・タネのことを知らない
就活生、農業軸で興味のある学生

仕様

- ・想定尺 4分
- ・動画サイズ 16:9
- ・視聴環境 コーポレートサイト、
イベント冒頭放映など

クオリティーの参考 | <https://youtu.be/4hwSGInCM3A?si=O0WLGz5JogIBGQ0x>

目的達成のために動画でやること

日常の中にある「たった一粒のタネ」が世界中の食や暮らしを支える存在であることを、実際の取り組みやストーリーを通して伝えることで、「こんな仕事に関わってみたい」と前向きに感じてもらえる構成です。

そのために

1. “タネから始まるストーリー”で、事業全体の意義と広がりを印象づけます
2. インフォグラフィックで複雑な仕組みをわかりやすく可視化します
3. 実際の取り組みや事例をストーリーに織り交ぜ、信頼と興味を引き出します
4. ストップモーションによるテンポのある演出で、長尺でも飽きずに引き込まれます

タキイ種苗株式会社 採用向け事業紹介動画 構成案

📺 動画の流れと内容

💡 視聴者の感情の動線

01 | 一粒のタネが広げる世界

タネのこと、よく知らない…

02 | タネの役割＝“設計図”としての機能

タネって面白い

03 | 実例紹介（開発・技術・グローバル展開など）

こんなに深くて広い仕事なんだ！

04 | 社会とのつながりを伝える

タネ（事業）で社会に貢献できるんだ！

05 | 「未来をつくる仕事」をPR

この事業を知りたい・関わってみたい

この構成・表現が有効な理由

1. 視聴ターゲットの心理・状況

- ▶ タネや種苗業への理解や関心が浅く、「農業＝特別な業界」や「種苗業って何？」という先入観や無関心がある状態です。
- ▶ タネや農業に対して距離を感じており、「仕事として想像しにくい」という印象があります。

2. そこで動画が果たす役割

- ▶ 映像だからこそ伝わる“食卓の風景”や“地球規模のつながり”をストーリーで表現し、直感的な共感と理解を生むことが動画の役割です。

3. その役割を果たす構成・表現手法

- ▶ 実際の取り組みを元に、タネが社会を変える物語を描きます
- ▶ インフォグラフィックで、品種や育種の仕組みをわかりやすく見せます
- ▶ ストップモーションを活かし、視覚的リズムで視聴者を飽きさせません

4. この構成だからこそ得られる効果

- ▶ タネや種苗業への興味・理解が自然に深まります
- ▶ 「社会を支える仕事」として魅力が伝わります
- ▶ エントリーやイベント参加などの行動意欲が高まります

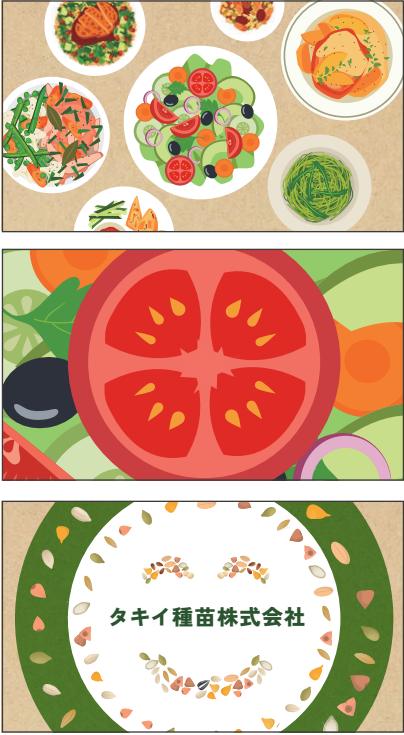
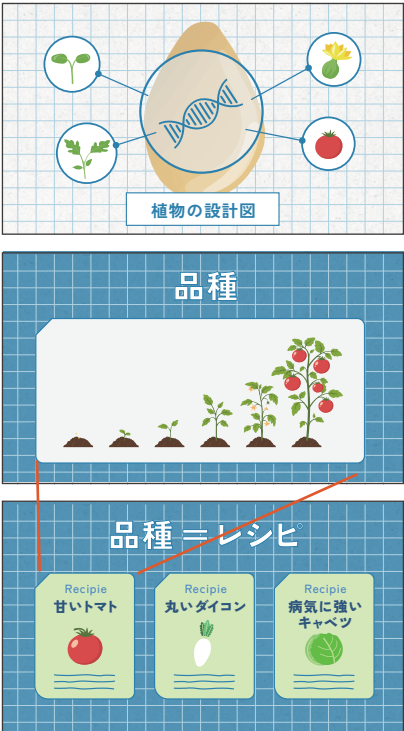
映像デザインイメージ



デザインコンセプト

タネの力を視覚的に表現し、親しみやすさとオリジナリティを出すために、シンプルな形状+豊かな色彩を用いることで、視覚的にわかりやすく、見ている人が直感的にそのメッセージを理解し、飽きずに視聴できるようにします。

背景には自然や農業の温かみを感じさせるテクスチャーを使い、奥行きをつけることで存在感を示すデザインに仕上げました。また、重要なメッセージを強調するために、インフォグラフィックやストップモーションを駆使して、ストーリーがスムーズに進行するように配慮していきます。

映像イメージ	内容
① 導入 “一粒のタネ”が広げる世界 	ナレーション例) 美味しそうな料理が並ぶ、にぎやかな食卓。 今日も世界のどこかで、誰かが笑顔で「いただきます」と言っています。 そんな食卓に欠かせないのが、野菜です。 栄養をととのえ、彩りを添え、季節を感じさせてくれる存在。 その野菜の一つひとつが、 実は——たった一粒の「野菜のタネ」から始まっています。 その野菜のタネを作るプロフェッショナルが、 私たちタキイ種苗です。
② 第1章： タネとは何か “設計図”としての役割 	タネは、植物の“設計図”。 どんな葉を広げ、どんな花を咲かせ、どんな実を結ぶのか。 そのすべては、はじめに蒔かれたタネに託されています。 そして、私たちがつくっているのは、 ただのタネではありません。 「品種」と呼ばれる、特別なタネです。 品種とは、そのタネを育てると、 どんな野菜になるかが決まっている“レシピ”のようなもの。 たとえば、甘いトマト、丸いダイコン、病気に強いキャベツ—— それぞれ、特性がちがうんです。

映像イメージ

内容

③ 第2章： 品種がもたらす価値と影響



ナレーション例)

私たちは、そうした品種を一から考えて、開発しています。
今ある野菜をもっと育てやすくしたり、
これからの時代に合った、まだない野菜を生み出したり。

品種づくりは、一晩ではできません。

10年近くの年月をかけて、何千回もの試験を繰り返しながら、
少しずつ形にしていくな地道な仕事です。

自然のちからと向き合い、人の手で未来を設計していく。

そこには、科学だけでなく、感覚や根気も必要です。

その一粒に、技術と知恵、

そしてタキイ種苗の情熱が込められています。

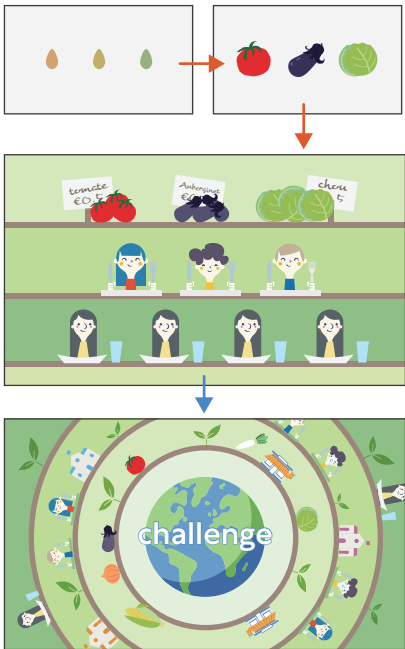
④ 第3章： 社会に対する役割 | 暮らしとのつながり



乾燥に強い野菜が求められる地域には、暑さに負けないタネを。
病気に悩む農家には、抵抗力のあるタネを。
作業の効率を上げたい現場には、育てやすく、収穫しやすいタネを。

たとえば、アフリカのある地域では、干ばつが続き、
作物が育たない年が続いていました。
そこで私たちは、乾燥に強い品種を届け、
現地の農家と一緒に栽培方法を工夫。
やがてその畑は緑を取り戻し、今では、
村の子どもたちの食卓にも野菜が並ぶようになりました。

タネを通して、農業や暮らしの「困った」を、少しずつ解決していく。
それが、私たちの仕事です。

映像イメージ	内容
	ナレーション例) このタネから生まれた野菜は、スーパーの野菜売り場にも、学校の給食にも、海外のレストランにも日常の中に、当たり前のように存在しています。 名前が表に出ることは少なくとも、確かに人の役に立っている。それを実感できるのが、タネの仕事の魅力です。 自分が設計したタネが、世界のどこかで育ち、誰かの笑顔につながっていく。そのつながりが、やりがいになります。 これは、未来の食を支える、大きな挑戦です。
⑤ エンディング： 未来への招待 	野菜のタネを通して、世界をもっとおいしく、育てやすく。そして、一人ひとりの「いただきます」を、もっと笑顔に。 一粒のタネで、世界は次々と彩られていく。その未来を、一緒に育てませんか？